

# 福島区将来ビジョン

お子さんからお年寄りまで、  
これからも住み続けたいまち 福島区  
～人と人がつながる安全・安心なまちづくり～



# 「福島区将来ビジョン」 目次

|                 | (ページ)       |
|-----------------|-------------|
| ・はじめに           | ・ ・ ・ ・ ・ 3 |
| ・ I 福島区の現状と課題   | ・ ・ ・ ・ ・ 4 |
| ・ II 将来ビジョンの骨子  | ・ ・ ・ ・ 1 5 |
| ・ III 将来ビジョンの本編 | ・ ・ ・ ・ 1 9 |
| ・ 将来ビジョン推進にあたって | ・ ・ ・ ・ 2 7 |

※本ビジョンの各グラフに記載されている「H」「R」はそれぞれ「平成」「令和」の年号を意味します。



## はじめに

福島区は、過去20年に渡って人口が増加傾向にあり、それに伴って区民の行政に対するニーズや、生活環境に対する価値観が多様化してきました。

一方で、情報通信技術の飛躍的な発展に伴う産業構造の変化や大阪・関西万博開催等に関連する各種開発事業、いわゆるウィズコロナ時代における新たな生活様式の模索など、我々を取り巻く社会的な環境も目まぐるしく変わりつつあります。

加えて、近い将来に発生が予測される南海トラフ巨大地震などの大規模災害への対応など、大小様々な課題が複雑に絡み合う現代において、安全・安心なまちづくりを実現する鍵は「人と人とのつながり」だと考えています。

この「福島区将来ビジョン」は、「SDG s (持続可能な開発目標)※」の理念の下、令和4年度から概ね4年間の福島区のめざすべき姿についてまとめたものです。人と人とがつながり、福島区が「お子さんからお年寄りまで、これからも住み続けたいまち」となるよう取り組んでまいります。

福島区長 深津 友剛

※「SDG s (持続可能な開発目標)」とは、国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。

# I 福島区の現状と課題